

和歌山県有床診療所協議会会員事務局より会員の皆様へ

(2024.3.15)

文責：辻 興

いつも当協議会運営に際しご支援を賜り心より感謝申し上げます。

来る令和6年度は、新型コロナ関連の公費負担が終了し、診療報酬と介護報酬そして障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年となり、特定疾患療養管理料大幅削減など難題が山積しており皆様対応に苦慮されているものと存じます。会員事務局を担う当院も一人医師体制となり、有床診療所と関連施設の人員不足、自身の親の介護が重なり、集会活動開催が益々困難な状況にあり、会員の皆様には大変ご迷惑をお掛けしております。代わりを担って頂ける会員の登場を切望しておりますが、それまで誠に申し訳ありませんが、会議等の書面での開催を今年度も継続させて頂きます事、どうかご理解をお願い申し上げます。

令和6年度総会を控え、今年度の事業計画（案）を作成致しました。御一読の上、ご意見、ご希望等御座いましたら、3/22（金）締め切りにて会員事務局までFAX：0739-22-0538にてご連絡下さい。

令和6年度事業計画（案）

1. 県下有床診療所が担っている病床機能の周知と更なる有効活用に向けて、県民や行政に情報発信を行なう。
2. COVID19の流行下において、院内感染防止対策に努めながら新型コロナワクチン接種等、各有床診療所で可能な範囲で新型コロナ診療への協力が出来る様、会員相互の情報共有と協力、支援を行なう。
3. 様々な行政施策に対応する為、新たに設立した「事務部会」を活用し、会員事務部門相互の情報共有と協力、支援を行なう。
4. 一般社団法人化する全国有床診療所連絡協議会との連携のもと、次世代に継承・持続可能な経営環境実現に向け、担っている役割に相応しい入院基本料引上げを求める。
5. 協議会ホームページを活用し、各会員が地域で担っている役割を発信し、12月4日の「有床診療所の日」記念行事等を用いた広報活動を促進する。
6. 県下有床診療所の一致団結と情報共有、意見の集約と将来展望構築の為、更なる会員増強を目指す。